

# 世界一大きな授業 2015

すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。



2015年までに  
誰もが小学校を卒業  
できるようにする。  
今年が約束の期限です！

4月26日(日)～5月31日(日) 開催



世界の子どもたちが参加 (左:ギリシャ 右:小笠原村立母島小学校)

# 今、私たちの世界は

学校に通えない子どもが5,780 万人います。

読み書きができない成人が7 億8,100 万人います。

2000年、国際社会は2015年までにすべての子どもが  
小学校を修了し、大人が読み書きができるようにする  
ことを約束しました。

その約束を果たすために、

# 世界で、日本で

2003年から世界の国際協力団体や教育関係者が呼びかけ、  
日本では、途上国の子ども・教育支援を行う23団体による  
「教育協力NGOネットワーク(JNNE)」が実施しているのが、

**世界一大きな授業**です。

# 世界一大きな授業は

毎年4月「子ども・教育」をテーマに  
世界100か国以上で 1,000万人規模が参加。

各国政府に働きかけ、世界の教育を変える  
大きな力になっています。



2008年、885万人が参加  
してギネス記録に登録。

## <日本政府>

2008年 高村外相、政策演説で「世界一大きな授業」について語る

2010年 菅首相、国連総会で35億ドル(5年間)の教育支援を発表

2011年 世界への教育援助(GPE基金)の拠出額増額を表明

## <世界の教育の改善>

- ◆14か国が、義務教育を無償化(2000年以降)
- ◆学校に行けない子どもは、南アジアと西アジアで半減
- ◆小学校就学の男女格差は、途上国の3分の2で解消

# 世界では

100か国以上の子どもたちと先生たち、  
過去には、アンジェリーナ・ジョリー、ネルソン・マンデラ、  
ボノ(U2)、ラーニャ王妃(ヨルダン)、  
潘基文国連事務総長、ジダン、ゼップ・ブラッター(FIFA)  
なども参加しました。



# 日本では

2014年は、全47都道府県の小・中・高・大学など校・グループ、約7万人が参加しました。

そして衆議院議員会館では、子どもたちが「先生」国会議員が「生徒」となって「国会議員のための世界一大きな授業」をおこないました。

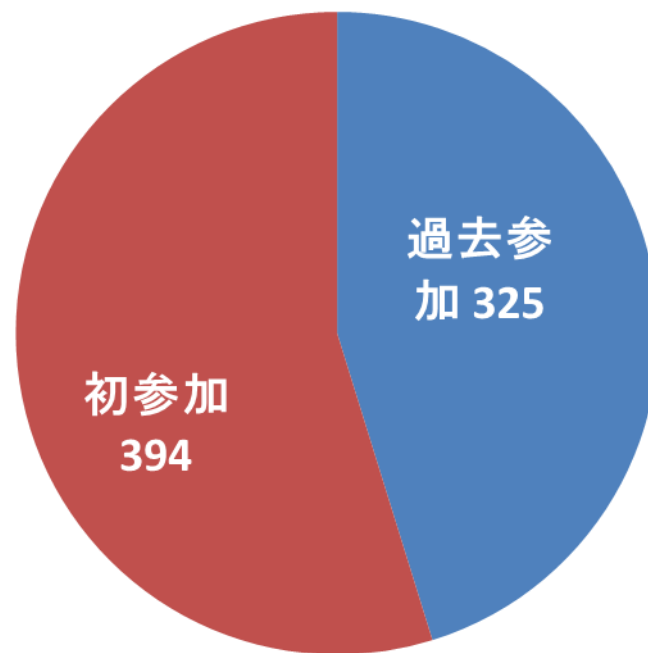
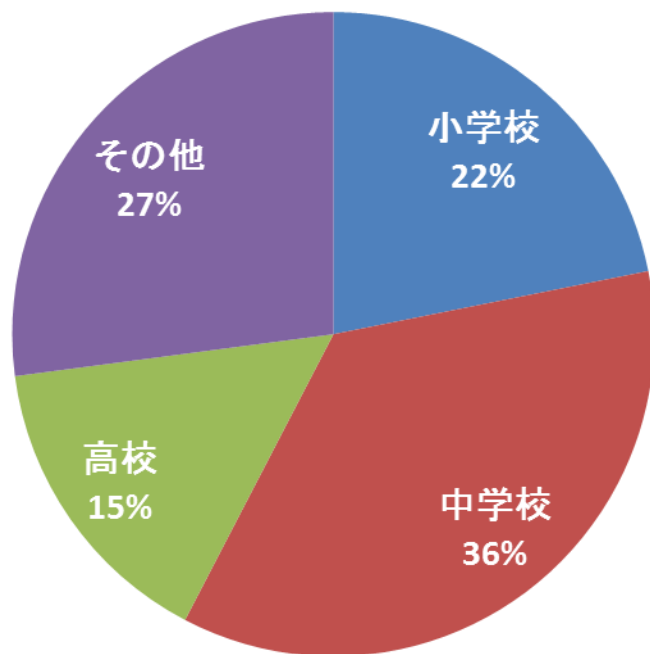


# 参加実績

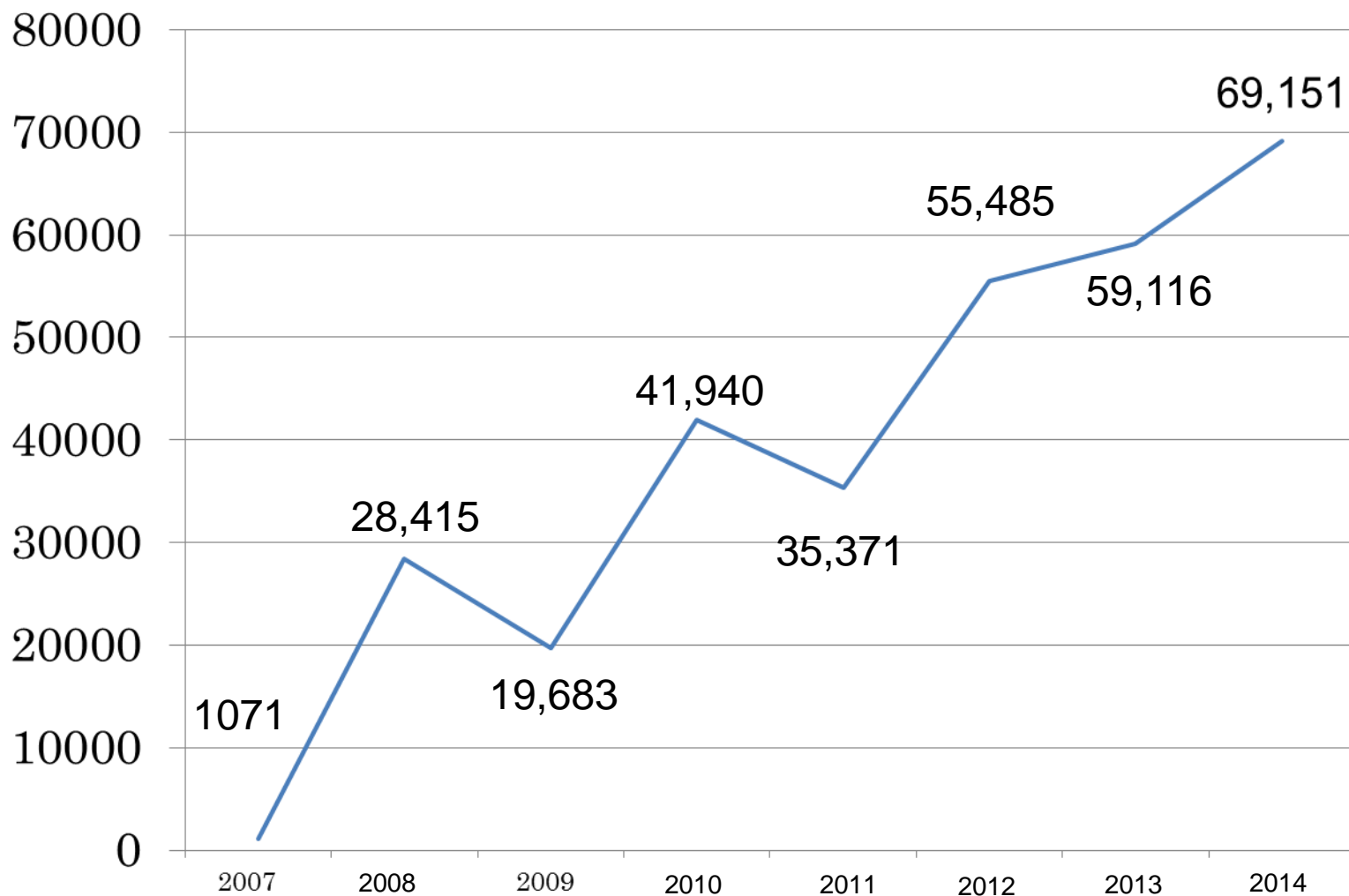
716校・グループ 69,151人(2014年)  
全都道府県の学校が参加

●小・中・高校・大学から参加

●半数以上が新たに参加



# 参加人数実績





# 報道実績

## ●2014年

読売新聞、毎日新聞、東京新聞、西日本新聞、日本教育社新聞、  
テレビ神奈川、KBS京都など、全16媒体

## ●2013年

NHKひるまえ ほっと、読売新聞、東京新聞、朝日新聞、産経新聞、  
中日新聞など、全16媒体

## ●2012年

NHKラジオ朝一番、朝日小学生新聞、愛媛新聞、室蘭民報

## ●2011年

NHKスタジオパーク、下野新聞、室蘭民報

## ●2010年

NHKニュース、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、室蘭民報、  
岩手日報、河北新報、富山新聞、北日本新聞、下野新聞、山梨日日新聞  
西日本新聞、佐賀新聞、大分合同新聞、大分放送ほか(計26媒体以上)

## ●2009年

朝日小学生新聞、朝日中学生ウィークリー、子どもと教育

# 世界一大きな授業2015

実施期間:2015年4月26日(日)~5月31日(日)  
参加目標:1,000校 10万人(全国の小中高生、一般)

主催:教育協力NGO ネットワーク(JNNE) <途上国で教育協力を行うNGO 23団体のネットワーク>

共催:プラン・ジャパン

助成:庭野平和財団

協賛:リコー社会貢献クラブ・FreeWill、KUMON English Immersion Camp

協力:地球対話ラボ

後援:文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、動く→動かす、国際協力機構、国際連合広報センター、ガールスカウト日本連盟、児童労働ネットワーク、なんとかしなきゃ!プロジェクト、ボーイスカウト日本連盟

\*「世界一大きな授業」はJNNE に参加する次の団体を実施しています。

開発教育協会、グッドネーバーズ・ジャパン、シャンティ国際ボランティア会、日本YMCA同盟、プラン・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども

# 世界一大きな授業 2つのポイント

①子どもも大人も、世界の教育の現状を学びます。



世界の教育を学ぶ中学生

②子どもたちが、参加者を代表して、教育支援の強化を日本政府に働きかけます。



メッセージを政府に届ける  
高校生(外務省にて)

# 世界一大きな授業は参加型授業

参加校・団体は、提供された教材を使い、期間中に授業を行います。  
教材は、世界の教育の現状、教育の大切さ、国際協力への理解を深める内容です。

授業の形式や時間は自由です。参加者・学年に合わせて、オリジナリティあふれる授業ができます。

用意された「正解」はありません。参加型授業を通して、自分たちにできることを考える機会を提供します。

- 教材(申込者に無料提供)
  - ・関連資料・データ
  - ・ワークシート(授業の後に感想を記入する用紙)



世界の参加者がこの授業で学んだことが、ホームページで閲覧できます。

# 授業に参加した子どもの声

- ◆インドの子どもたちが全力で頑張っているのに、ぼくたちは何もやらなくてよいのだろうか、何かできることはないのだろうか。(小学生)
- ◆同じ子どもなのに、学校に行ける子といけない子がいて、大人は何とも思わないのだろうか。(中学生)
- ◆子どもが団結して物事を考えると問題が解決できるのに、大人の方が解決できず問題がたくさん起きるのは不思議だ。(高校生)
- ◆一人ひとりの力は小さく限られているが、大勢で集まれば世界を動かすことができると思う。(大学生)

## 先生の声

- ◆生徒に話し合わせて考えさせる部分が多く、興味を持って取り組んでくれました。世界中の子どもたちの教育に関する状況を学ぶことができとても有意義な教材でした。
- ◆キャンペーンの存在自体を知るだけでなく、内容解説や指導法が公開されており、体験的に学習できる構成となっているのが良いと思う。

# 世界一大きな授業 これまでのあゆみ

- 2003年 女子の教育についての世界一大きな授業(200万人参加)ギネス記録
- 2004年 世界一大きな政治家への働きかけ(250万人参加)
- 2005年「学校へ友だちを送ろう」キャンペーン(500万人参加)
- 2006年「全ての子どもに先生を」キャンペーン(550万人参加)
- 2007年 教育の権利をみんなの手に！「世界一長い人間の鎖」(550万人参加)
- 2008年 世界一大きな授業 ギネスへ挑戦！(880万人参加)ギネス記録
- 2009年 世界中の子どもたちといっしょに、「読み書き」について考えよう！  
(1200万人参加)
- 2010年 世界一大きな授業 「ゴールはひとつ！世界中の子どもに教育を」  
(1200万人参加)
- 2011年 世界一大きな授業「女の子と女性の教育」
- 2012年 世界一大きな授業「震災から見えてきた教育の大切さ」
- 2013年 世界一大きな授業 すべての子どもに教育を。みんなが動けば世界は変わる。
- 2014年 世界一大きな授業 すべての子どもに教育を。みんなが動けば世界は変わる。

# 世界一大きな授業への 協賛のお願い

# 2015年は

## 参加目標、1,000校・10万人。

## 全国の学校に6種のツールで発信します。

### ①募集チラシ&申込書

**世界一大きな授業 2015**  
すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

世界100か国以上の子どもたちと一緒に、教育について考える授業をしよう！

毎年、世界中で小学校の授業が10万回以上、100万人以上の子どもたちが参加しています。2015年は、2000万人以上の子どもたちが参加する予定です。

「世界一大きな授業」は、世界の授業の現状を世界中で同じ時間に学び、世界の未来について考えるイベントです。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。

**参加用の教材を提供します**

経済的・学業的・時間的・地理的制約なく、世界の学校でも参加できるように教材を提供しています。

● 教材：外国語入門コースを無料で、JINNEが日本語で提供します。

● 教材：英語のユニットで構成され、小学3年生から高学年まで対応しています。

● ノート：半紙サイズの教材が用意されています。

● 教材：日本全国の学校に配布されています。

**参加者募集中**

4月24日(日)～5月1日(日)の間、世界中の学校に45分間の授業を実施していただく方を募集しています。授業の準備が完了した学校は、お申し込みのうえ、教材を送付いたします。お申し込みは、お申し込みのうえ、教材を送付いたします。

申し込み期間：2015年4月24日(日)～5月1日(日)  
申し込み先：JINNE事務局  
申し込み先：JINNE事務局

「世界一大きな授業」2015  
主催：教育協力NGOネットワーク（JINNE）  
協賛：教育協力NGOネットワーク（JINNE）  
協賛：教育協力NGOネットワーク（JINNE）

### ②ファックスDM

**世界一大きな授業 2015**  
すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

下表の空欄を埋め、キャンペーン事務局宛  
FAX: 020-4662-2085 に送信してください

ホームページ [www.jinne.org/jp/2015](http://www.jinne.org/jp/2015) から申し込み

世界一大きな授業「震災から見えるべき教育の大切さ」参加申込

学校名 \_\_\_\_\_ 所在地 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号 \_\_\_\_\_

参加学年級 \_\_\_\_\_ 人、 教員数 \_\_\_\_\_ 名

学校の担当 氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

届けてください ① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① 参加校の住所と連絡先（〒、市、区、町、番、号）  
② 参加校の学年級と人数、教員数  
③ 参加校の担当者の氏名、住所、電話番号、Eメール、FAX  
④ 参加校のホームページのURL  
⑤ 参加校のホームページのURL  
⑥ 参加校のホームページのURL

〒104-8544 東京都中央区新富町1-10-14F アズビルビル  
E-mail: [info@jinne.org](mailto:info@jinne.org) TEL: 020-4662-2085

### ③ホームページ・バナー

**世界一大きな授業 2015**  
すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

世界一大きな授業とは？  
世界一大きな授業とは、世界中の学校で同時に実施される授業です。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。

世界一大きな授業「震災から見えるべき教育の大切さ」  
「世界一大きな授業」は、世界の授業の現状を世界中で同じ時間に学び、世界の未来について考えるイベントです。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。

世界一大きな授業「震災から見えるべき教育の大切さ」  
「世界一大きな授業」は、世界の授業の現状を世界中で同じ時間に学び、世界の未来について考えるイベントです。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。

### ④教材

**世界一大きな授業 2015**  
すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

1. 参加校の学年級  
2. 参加校の住所と連絡先  
3. 参加校の学年級と人数、教員数  
4. 参加校の担当者の氏名、住所、電話番号、Eメール、FAX  
5. 参加校のホームページのURL  
6. 参加校のホームページのURL

「世界一大きな授業」は、世界の授業の現状を世界中で同じ時間に学び、世界の未来について考えるイベントです。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。

### ⑤報告書 ⑥参加証明書

**世界一大きな授業 2015**  
すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。

「世界一大きな授業」は、世界の授業の現状を世界中で同じ時間に学び、世界の未来について考えるイベントです。今年も世界中100か国以上で実施され、参加校の数を過去最高に伸ばし、参加校に届けるための準備が完了しました。100か国以上の学校が参加し、2000万人以上の子どもたちが参加し、2008年には885万人が参加し、今年も参加校を増やしたいと考えています。日本ももちろん参加校を増やしたいと考えています。



# 企業名を掲載し、「子どもをサポートする」企業イメージを 全国に届けます

**媒体の  
ご案内**

- ①募集チラシ&申込書
- ②ファックスDM
- ③ホームページ・バナー
- ④教材
- ⑤報告書
- ⑥参加証明書



**配付時期:**3月~4月  
**対象:**全国の小・中・高・大学、国際交流協会、図書館など。  
**制作数:**9万部  
**サイズ:**A4判

**送付時期:**3月  
**対象:**全国の小・中・高校  
**送付数:**38,000校  
**サイズ:**A4判

**掲載開始:**2月  
**特長:**参加校の担当教員が教材をダウンロードしたり、児童生徒が事前事後学習の際にアクセス。

**配付時期:**2~5月  
**対象:**申込み校 (1,000校目標)  
**サイズ:**A4判  
**特長:**教材は参加児童生徒全員が利用。手引きは、1校で複数学級または全校参加するため、多数の先生にリーチ。

**配付時期:**8月  
**対象:**参加1,000校、10万人(予定)  
**サイズ:**報告書B2判  
参加証A4判  
**特長:**校内に掲示されると考えられ、長期間露出。先生と児童生徒が注視。郵送物には広告の同封も可能。

**<企業名(ブランドロゴ)掲載料>**  
**●特別協賛 全ツール&広告同封 : 30万円**  
**●協賛 教材・報告書のみ : 10万円**

## 募集チラシ & 申込書 掲載例



**配付時期:**3~4月  
**対象:**全国の小・中・高・大学、国際交流協会、図書館など。  
**制作数:**3万部  
**サイズ:**A4判  
ブランドロゴを入れることも可能です。

## 報告書 掲載例



**配付時期:**8月  
**対象:**参加1,000校、10万人(予定)  
**サイズ:**報告書B2判  
**特長:**校内に掲示されると考えられ、長期間露出。先生と児童生徒が注視。

主催 教育協力NGO ネットワーク(JNNE)

共催 プラン・ジャパン

特別協賛 ●●●●●●

協賛 ●●●●●

後援:文部科学省、外務省、全国連合小学校長会  
 全日本中学校長会

主催 教育協力NGO ネットワーク(JNNE)

共催 プラン・ジャパン

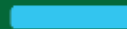
特別協賛 ●●●●●●

協賛 ●●●●●

後援:文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

# 世界一大きな授業 2015

すべての子どもに教育を。一本のペンが世界を変える。



2015年までに  
誰もが小学校を卒業  
できるようにする。  
今年が約束の期限です！

4月26日(日)～5月31日(日) 開催

## ●申込・お問い合わせ●

「世界一大きな授業」事務局

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22-11F

公益財団法人プラン・ジャパン内

電話: 03-5481-0030 FAX: 020-4662-2085

Eメール: [gce.japan.campaign@gmail.com](mailto:gce.japan.campaign@gmail.com)